

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 5 日 (2020.3.5)

【公表番号】特表 2019-511702 (P2019-511702A)

【公表日】平成 31 年 4 月 25 日 (2019.4.25)

【年通号数】公開・登録公報 2019-016

【出願番号】特願 2018-541125 (P2018-541125)

【国際特許分類】

G 0 1 R 33/04 (2006.01)

G 0 1 R 33/02 (2006.01)

H 0 1 L 43/00 (2006.01)

H 0 1 L 43/02 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 33/04

G 0 1 R 33/02 L

H 0 1 L 43/00

H 0 1 L 43/02

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 24 日 (2020.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

集積フラックスゲート回路であって、
基板と、

回路であって、前記基板上に造られる能動領域を備えるトランジスタと、前記トランジスタに対する相互接続を提供するために前記能動領域の上に形成される金属層とを含む、
前記回路と、

フラックスゲートであって、前記金属層の上に形成される第 1 の磁気コアセグメントと、前記金属層の上に形成され、前記第 1 の磁気コアセグメントと平行に整合される、第 2 の磁気コアセグメントと、集合磁気コアを確立するために前記第 1 及び第 2 の磁気コアセグメントに巻き付くコイルとを含む、
前記フラックスゲートと、
を含む、集積フラックスゲート回路。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の集積フラックスゲート回路であって、
前記第 1 の磁気コアセグメントが第 1 のセグメントコア長を有し、
前記第 2 の磁気コアセグメントが第 2 のセグメントコア長を有し、
前記第 1 のセグメントコア長と前記第 2 のセグメントコア長とが約 1 mm であるか又は 1 mm よりも大きい総コア長を画定する、集積フラックスゲート回路。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の集積フラックスゲート回路であって、
前記フラックスゲートが、前記金属層の上に形成され、
前記第 1 及び第 2 の磁気コアセグメントと平行に整合される第 3 の磁気コアセグメントを更に含み、
前記コイルが、前記集合磁気コアを確立するように前記第 1、第 2 及び第 3 の磁気コアセグメントに巻き付く、集積フラックスゲート回路。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の集積フラックスゲート回路であって、
前記第 1 の磁気コアセグメントが第 1 のセグメントコア長を有し、
前記第 2 の磁気コアセグメントが第 2 のセグメントコア長を有し、
前記第 3 の磁気コアセグメントが第 3 のセグメントコア長を有し、
前記第 1、第 2 及び第 3 のセグメントコア長が約 1 mm であるか又は 1 mm よりも大きい総コア長を画定する、集積フラックスゲート回路。